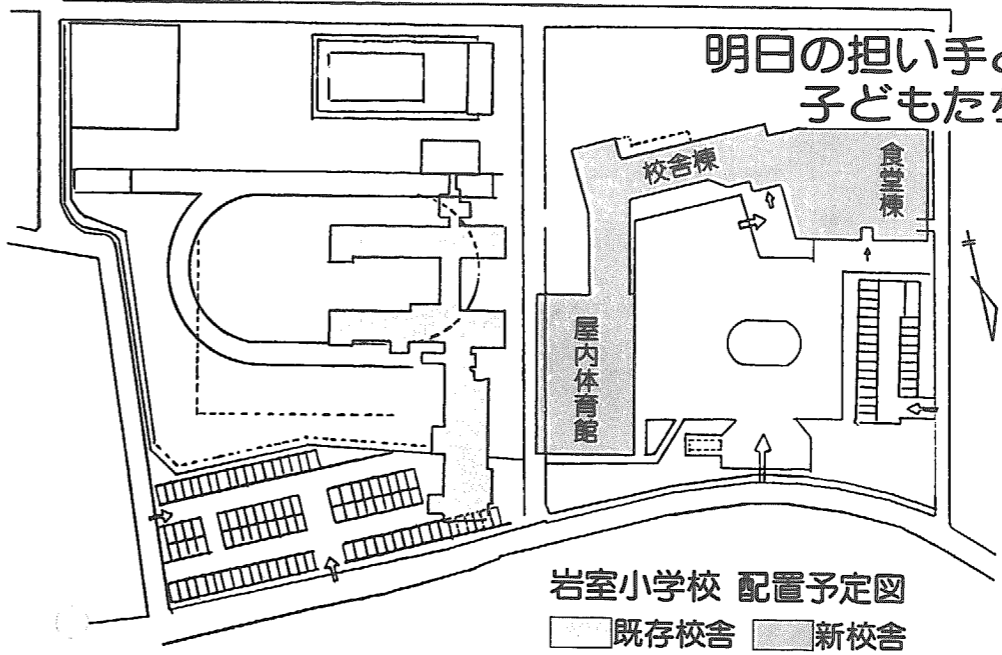


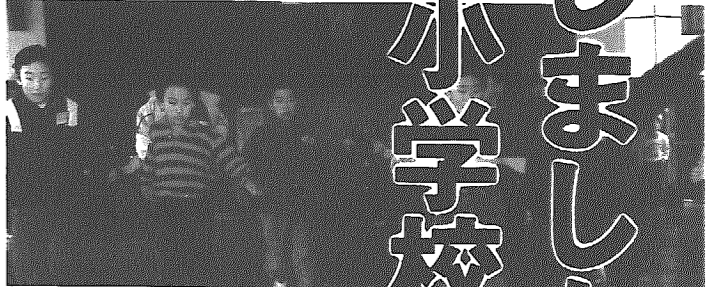
動き出ししました

岩室小学校改築事業

明日の担い手となる
子どもたちのために



岩室小学校 配置予定図
□ 既存校舎 □ 新校舎



今回改築が始まった岩室小学校は、一人ひとりの人間性(個性)を大切にできる施設とその環境づくりに視点を置いて建設されます。

次代を担う子供たちが、心身ともに健康で明るく、人間性豊かに育つようにと、親はもちろん、だれしもが願っていることだと思えます。そのため、村では充実した教育環境のもとで、教育の機会が確保されるように環境整備を積極的に進めていきます。平成元年度から二か年継続事業として改築が行われた和納小学校も、平成三年九月に開校。そして教育施設整備の第二弾として、ことしからいよいよ岩室小学校の改築事業がスタートします。そこで今号では、岩室小学校の改築事業にスポットをあて、その動向について少しお話ししましょう。

夢を創る「岩室小学校の改築事業が開始しました」

次代を担う子供たちが、明るく楽しい教育環境の中で、勉強やスポーツ活動ができることは、親だけでなく村民の皆さんだれもが願っていることだと思います。そのため村では、毎年子供たちの教育環境の整備充実を最重点施策の一つとして積極的に取り組んでいます。ところで、村内には三小学校、一中学校があるわけですが、皆さんもご存じのとおり、平成三年九月に新和納小学校が開校し、残る二小学校が郡内でも少なくなった木造校となったわけです。現岩室小学校は、昭和二十四年に建築され、こ

として四十四年目を迎えます。当時、岩室中学校(中学校統合前)校舎として建築されたもので、建物自体も戦後すぐの建築物のため、使用木材などは粗悪なものも多く使われており、それに長年の風雨で校舎も老朽化しており、改築を求め声が強く出されてきました。では、「なぜもっと早く改築しないんだ」なんて方もおられると思います。村でもできればもっと早く改築を進めたかったのですが、何とんでも財政的な問題があったからで、あり余るお金でもあれば可能でしょうが、限られた財源の中ではひとつひとつ効果的なお金の使い方をしなければなりません。それに小学校の改築ともなると、建物などの施設面整備だ

改築事業は平成五、六年の二か年継続事業で実施

さて岩室小学校改築事業ですが、建設位置については皆さんもご存じのとおり、現学校用地(約一万六千平方メートル)と隣接する西側一部(約一万三千平方メートル)を買収した計約二万九千平方メートルの広い敷地内に建設が予定されています。西側用地については、昨年中に土地所有者の皆さんの積極的なご協力により、買収もスムーズに完了。それに併行して、建設予定地(右図参照)の地質調査も行われ「学校建設には問題なし」との調査結果も得られました。その後、昨年末には造成工事に伴う人札も行われ、平成五年度着工に向け、いよいよ動き出しました。ところで、学校改築というと皆さんに一番関心になるのが、やはり建物などの建設計画ではないでしょうか。しかし、

残念ながら今のところ右図のような配置図程度しかできていませんので、後日決まり次第お知らせしたいと思います。では、校舎棟等の配置についてお話ししましょう。岩室小学校の新校舎位置については、右図をご覧になってわかるとおり新たに買収した用地側に建設が予定されています。これは、工事期間中の子供たちへの影響を考え、一方で建設作業を進めるために新しい用地への配置が計画されています。また一番肝心な建設計画ですが、現在、関係者たちの要望・意見などを取り入れながら作成中であり、三月を目途にその具体的な建設計画が完成する予定です。そして、その建設計画は、四月中に国への認可申請が行われ、国の認可がおり次第入札され、平成五、六年の二か年継続事業で着工される予定です。子供たちの健やかな成長を願う、そんな学校づくりについて、先ほどお話ししたように、基本設計などについては、現在、作成中ということに詳しいことについてはお知らせすること

とはできませんが、設計主旨や主な建設内容についてご紹介しましょう。まず最初に、今回建築される岩室小学校の設計主旨ですが、「子供たち一人ひとりの人間性(個性)を大切にできる施設とその環境づくり」に視点を置いた教育環境づくりを目指します。建築面積は、延約六千四百平方メートル(校舎棟、屋内体育館、食堂棟含む)鉄筋コンクリート造り三階建ての近代的施設となります。



▲平成五年度着工に向けて造成工事が始まった建設用地

ようにするシステムで、もちろんオープンスペースといっても学年ごとに独立性が持てるような配慮も予定されています。そして次に特徴的なのが屋内体育館です。ここも子供たちが思いっきり運動や活動ができるようにスペースも広くとられ、また開校後に地域の人々たちからも健康増進や地域文化向上のための拠点としても利用ができるような配置が計画されています。そして最後にご紹介するのが、郡内小学校でも数少ない食堂棟です。こは、食事(給食)を通して、子供たち同志の交流や教師たちとのふれあいを深めてもらうとともに、集団生活の楽しさを満喫してもらうことを目的に計画されているもので、食堂棟からは多宝の山脈や田園一帯が一望に見渡せるような施設が予定されており、今からその期待が寄せられています。以上が、ほんとうに大まかな概要ですが、この他にも細部にわたり、子供たちが健やかにそして楽しく学習ができるような工夫や配慮が凝らされる予定です。

工事中の環境づくり

現在、岩室小学校改築に伴う造成工事が、三月末を目途に進められています。なお工事期間中は、工事の騒音・振動、それに工事車両などのため大変ご迷惑をおかけしますが、「二十一世紀を支える子供たちのための学校づくり」のため、皆さんの深いご理解とご協力をお願いいたします。

岩室小学校の沿革

- [明6.3] 学制頒布をうけ、公立小学校峰岡校付属岩室分校として開学(地藏庵)
 - [明19] 小学校令が出て、公立尋常科岩室小学校となる
 - [明35.6] 岩室西尋常小学校、岩室東小学校開校
 - [明43.2] 東、西校舎落成、移転
 - [大15.7] 青年訓練所開設
 - [昭18.1] 西校増築校舎落成
 - [昭22.4] 岩室村立岩室小学校発足(東西2校舎統合)
 - [昭23.11] 岩室小学校PTA発足
 - [昭37.4] 給食室完成、完全給食開始
 - [昭40.9] 現校舎(旧岩室中学校)に移転
 - [昭43.5] 校舎増築、完全移転
 - [昭44.7] プール完成
 - [昭48.11] 創立百周年、式典挙行
 - [昭57~] 教室棟、体育館等の老朽化に伴い随時改修、改装
 - [平3~] 校舎棟、体育館屋根修理 ~現在に至る
- ※今回掲載しました内容は、岩室小学校教育計画(平成4年版)から抜粋したものです。